

**【介護事業所におけるモバイル端末利用の意識調査】
厚生労働省ガイドラインの個人端末持込み禁止を8割が認知せず
端末貸与の対策済みは4割止まり、社用モバイル端末導入の壁は「コスト」**

介護・医療の情報サービスを提供する株式会社エス・エム・エス（代表取締役社長：後藤夏樹、東証一部、以下「当社」）は、介護事業者853名を対象に介護事業所におけるモバイル端末利用の意識調査を実施しました。

調査の結果、昨年2017年5月に厚生労働省が介護現場において個人のモバイル端末を業務に利用するBYOD（Bring Your Own Device）の原則禁止を個人情報保護の観点から明確化したにもかかわらず77.3%が認知しておらず、対応が進んでいないことがわかりました。また、実際の職員用モバイル端末の導入率も38.1%と低くなっており、その要因としては「端末コストがかかるから（34.3%）」、「通信コストがかかるから（31.3%）」と費用面の理由が大きいことがわかります。

一方、当社が今年2月に開始した介護業界初のスマホレンタルサービス「カイポケモバイル」の会員80名を対象に、カイポケモバイル満足度調査を実施した結果、導入により得られた効果としては1位「通信コスト削減（56.3%）」、2位「利用者様ご家族とのコミュニケーション円滑化、質向上（35.0%）」、3位「業務効率化、残業減（31.3%）」となり、「カイポケモバイル」での端末貸与により、コスト削減を実現した事業所が半数以上にのびりました。

主な調査結果

■介護事業所におけるモバイル端末利用の実態調査

・BYOD原則禁止を介護事業所の約8割が認知していない

2017年5月に原則禁止になったにもかかわらずほとんど認識されておらず（22.7%）、業界として情報管理の徹底が不足している状況が明らかになった。

・社用のモバイル端末が提供されない大きな理由は「コストの問題」が最多

1位「端末コストがかかるから（34.3%）」に次いで、2位「通信コストがかかるから（31.3%）」、3位「会社・事業所の同意が得られないから（26.5%）」の回答が挙がった。

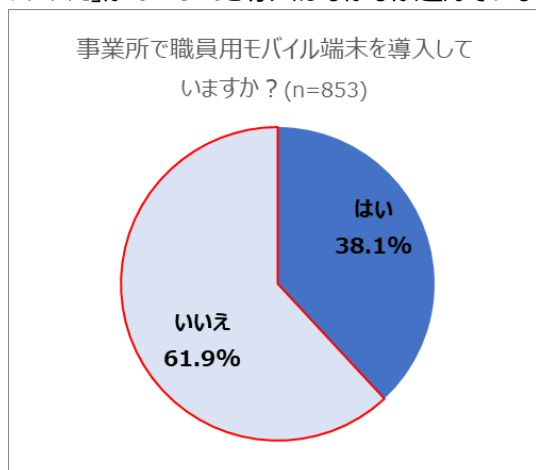
【調査概要】

▼調査1「介護事業所におけるモバイル端末利用の実態調査」

- ・実施期間：2018年5月28日（月）～6月11日（月）
- ・調査対象：「カイポケ」会員およびケアマネジャーコミュニティサイト「ケアマネドットコム」会員
- ・回答総数：853名（カイポケ会員314名、ケアマネドットコム会員539名）
- ・調査方法：Webを使用したアンケート

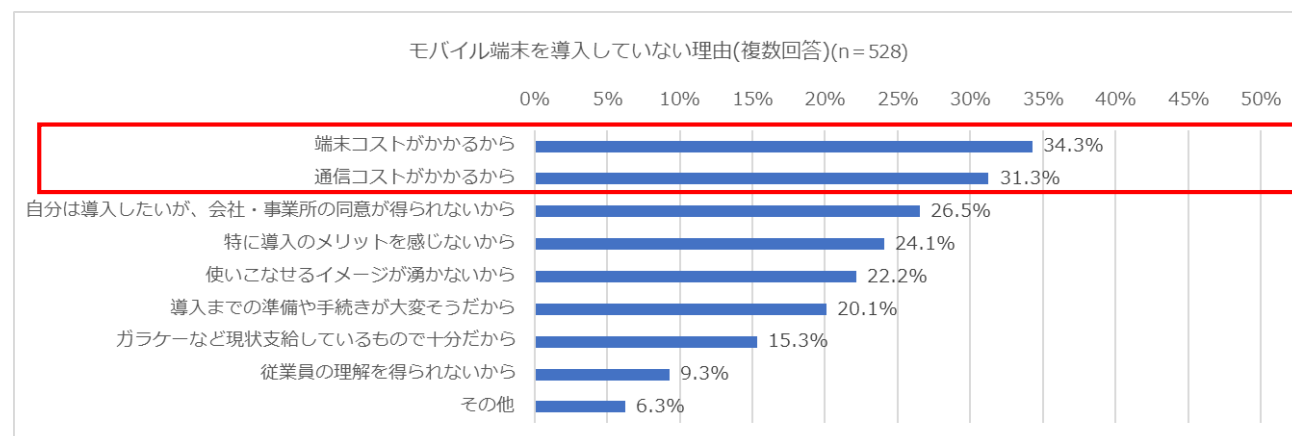
Q.事業所で職員用のモバイル端末を導入していますか？

「いいえ」が 61.9%と導入はなかなか進んでいない。



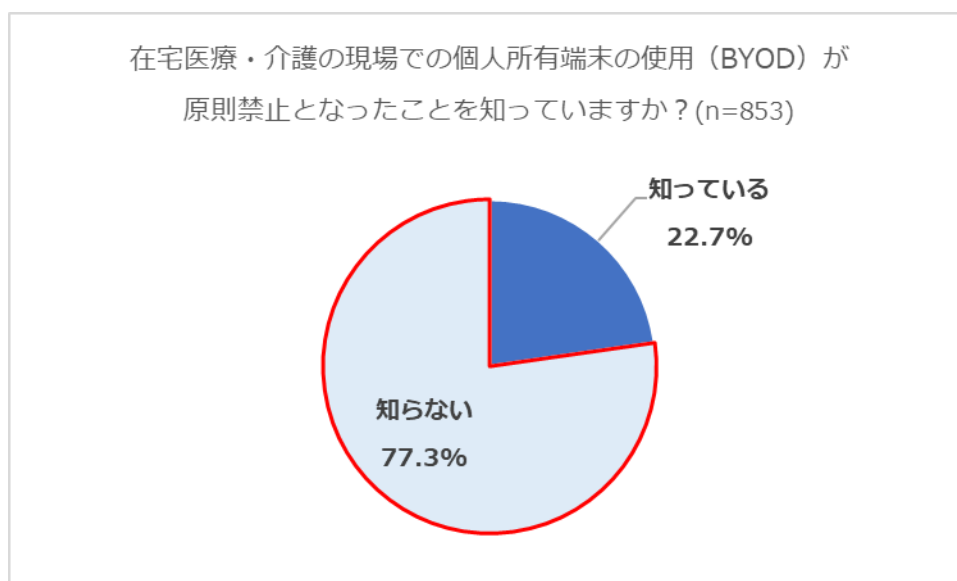
Q.モバイル端末を導入していないと答えた方、導入していない理由を教えてください(複数回答可)。

上位は、「端末コストがかかるから (34.3%)」、「通信コストがかかるから (31.3%)」と費用面の理由を挙げる事業所が多く、次いで、「会社・事業所の同意が得られないから (26.5%)」。

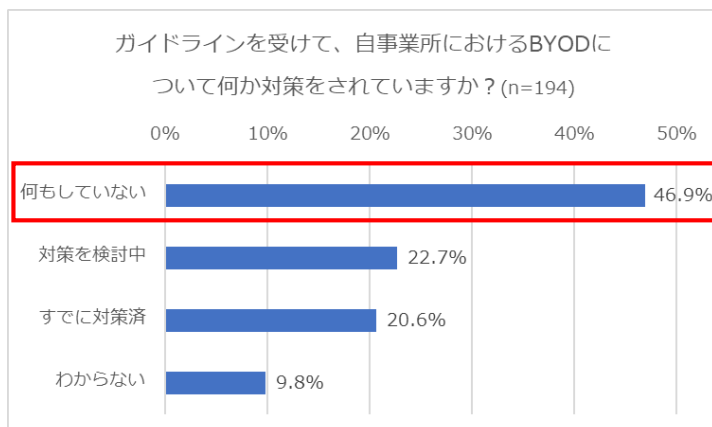


Q. 昨年 5 月に策定された「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第 5 版」により、在宅医療・介護の現場での個人所有端末の使用 (BYOD) が原則禁止となったことを知っていますか？

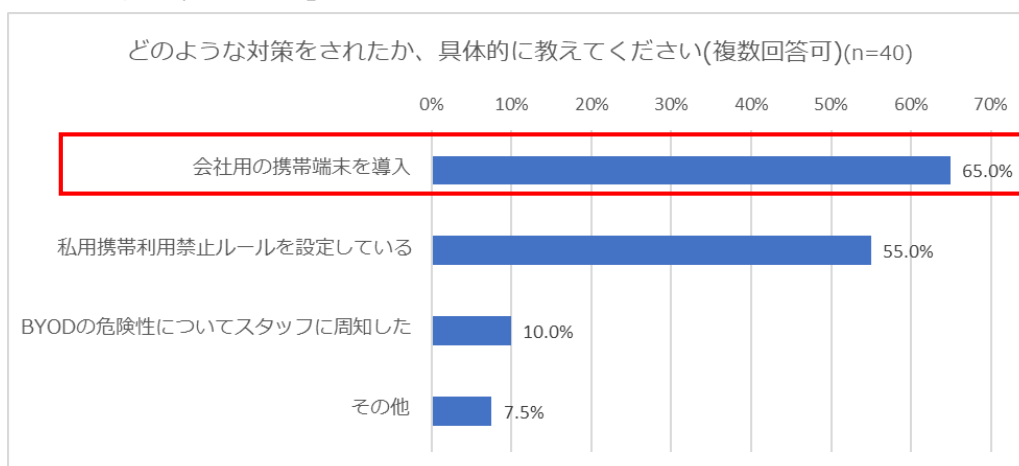
「知らない」が 77.3%と、認知・浸透に課題がある現状が浮き彫りに。



Q.知っている方、ガイドラインを受けて、自事業所におけるBYODについて何か対策をされていますか？
 「何もしていない」が46.9%。対策にまでいたっている事業所は少ない。



Q.すでに対策済とお答えの方、どのような対策をされたか具体的に教えてください(複数回答可)。
 「会社用の携帯端末を購入」が65.0%と上位。

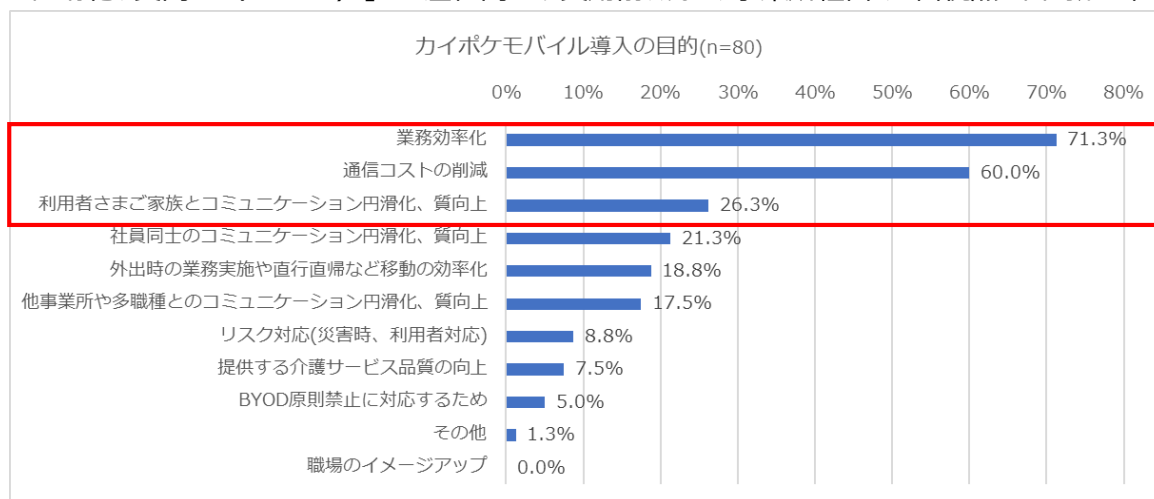


▼調査 2「カイポケモバイル満足度調査」

- ・実施期間：2018年5月28日（月）～6月11日（月）
- ・調査対象：「カイポケ経営支援サービス」カイポケモバイル会員
- ・回答総数：80名
- ・調査方法：Webを使用したアンケート

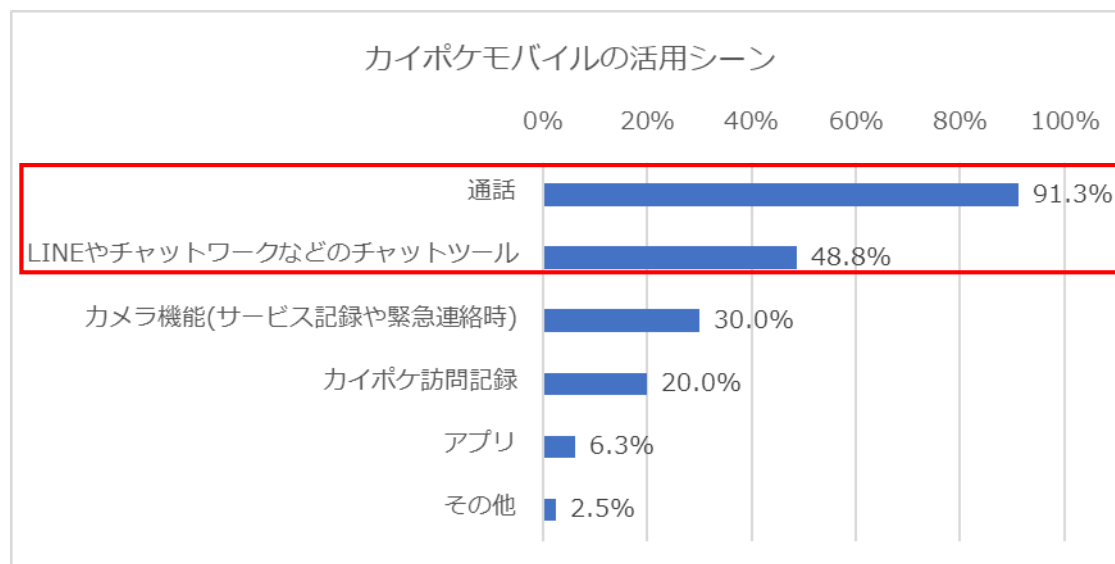
Q.カイポケモバイル導入の目的を教えてください(複数回答可)。

「業務効率化（71.3%）」、「通信コストの削減（60.0%）」が上位。次いで「利用者さまご家族とのコミュニケーション円滑化、質向上（26.3%）」。「生産性向上や費用削減など、事業所経営・運営視点の目的が上位。」



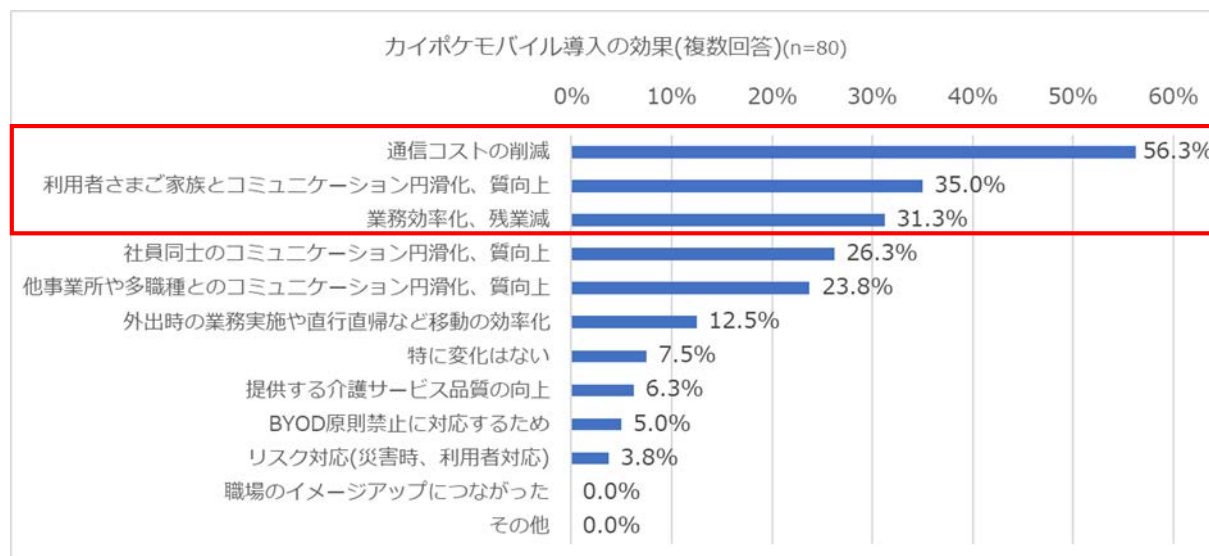
Q.カイポケモバイルの活用シーンについて教えてください(複数回答可)。

「通話（91.3%）」、「LINEやチャットワークなどのチャットツール（48.8%）」でコミュニケーション活用が上位。



Q.カイポケモバイル導入の効果について教えてください(複数回答可)。

「通信コストの削減（56.3%）」に次いで、「利用者さまご家族とコミュニケーション円滑化、質向上（35.0%）」。次いで「業務効率化、残業減（31.3%）」。導入目的の上位は、業務効率化や費用削減であったが、導入の効果としては介護の質に関係する項目が上がっている結果となった。



【「カイポケ」について】

「カイポケ」は、ICT 活用による介護事業者の経営・業務の効率化や働き方改革をサポートするクラウドサービスです。介護業務以外の間接業務を削減する業務支援機能、勤怠・給与・労務や会計などの経営・運営支援機能を提供し、介護事業者が目指す理想の介護サービス実現を支援します。現時点で約 40 のサービス・機能を展開しており、会員数は、全国約 22,200 事業所となります。

URL : <http://ads.kaipoke.biz/>

【「カイポケモバイル」について】

「カイポケモバイル」は、介護業界初^{※1}のスマホレンタルサービスです。24 時間 365 日通話かけ放題、高速データ通信料 7GB、利用期間の縛りなし、故障・紛失時保障などをセットで提供しています。訪問介護事業者向けサービス「カイポケ訪問記録（ウェブ版）」^{※2}など、「カイポケ」とあわせて利用することでさらなる業務効率化をサポートします。

2018 年 6 月現在、レンタル台数 1,500 台。

URL : http://ads.kaipoke.biz/pages/kaipoke_mobile/index.html

※1 : 当社調べ

※2 : ホームヘルパーの実施記録をスマホで入力しカイポケと連動できる訪問介護ステーション向け業務効率化機能

(URL : http://ads.kaipoke.biz/function/visit_record.html)

【「ケアマネドットコム」について】

「ケアマネドットコム」は、介護支援専門員（ケアマネジャー）のケアマネジメントを応援する、業界最大級のコミュニティサイトです。最新ニュースや厚労省通知、セミナーなどの業務系情報、質問・相談掲示板やブログを提供しています。

2018 年 7 月末現在、会員数約 15 万人。

URL : <http://www.care-mane.com/>

【株式会社エス・エム・エスについて】

2003年創業、2011年東証一部上場。「高齢社会に適した情報インフラを構築することで価値を創造し社会に貢献し続ける」ことをミッションに掲げ、「高齢社会×情報」を切り口にした40以上のサービスを開発・運営しています。

名称：株式会社エス・エム・エス

所在地：東京都港区芝公園 2-11-1 住友不動産芝公園タワー

代表者：代表取締役社長 後藤 夏樹

会社設立：2003年4月

資本金：21億6,765万円(2018年3月31日現在)

従業員数：連結：1,953人、単体307人（2018年3月31日現在）

事業内容：高齢社会を、介護、医療、キャリア、ヘルスケア、シニアライフ、海外の6つと捉え、さまざまなサービスを開発・運営

URL：<https://www.bm-sms.co.jp/>

【報道関係のお問い合わせ】

広報担当 竹原(たけはら) 電話：03-6721-2404 mail:smsinfo@bm-sms.co.jp